

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		総合臨床実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	320 (8) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	通年	教室名	実習施設
担 当 教 員		学科教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
評価実習の内容に加え、対象者の障害像の把握、治療目標および治療計画の立案、治療実践ならびに治療効果判定等を学ぶ。実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨床実習が望ましく、様々な疾患・状態の対象者を数多く経験し、経過の観察を通じて理学療法の効果を学ぶ。また、診療録等への記載方法やカンファレンスへの参加など、様々な理学療法業務についても理解を深める。							
《成績評価の方法と基準》							
総括的評価とし、①出席状況、②臨床実習中の状況、③ソーシャルスキル(ルーブリック評価)④チェックリスト ⑤実習後の提出課題内容、⑥実習後の報告会の内容を総合的に評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
出雲医療看護専門学校 理学療法士学科 実習要項							
《授業外における学習方法》							
実習施設の実習時間は1単位を40時間(320時間)とする。ただし、家庭で行う自己学習を行う場合は、この限りではない。 自己学習は、これまでに学んだ基礎医学、臨床医学、専門知識、検査技術とする。							
《履修に当たっての留意点》							
・臨床実習指導者は、5年以上実務に従事し、かつ臨床実習指導者養成講習会を修了した者が担う ・臨床実習20単位のうち14単位以上は病院または診療所、介護老人保健施設で行うこと。その内、7単位以上は病院または診療所となる。また、訪問リハビリテーションまたは通所リハビリテーションでの実習は臨床実習20単位の内1単位以上を行うこと。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
臨床 実習	実習形式	見学実習・検査測定実習・評価実習の到達目標に加え以下の項目を到達度とする ・指導者の指導・助言のもと、対象者の治療目標を設定し、その設定根拠について説明できる。 ・指導者の指導・助言のもと、理学療法プログラムを選択し、その根拠について説明することができる。 ・一連の理学療法の過程について記録することができる。 ・理学療法の効果を確認、記録し、その内容について説明することができる			実習要項	実習での経験を振り返り 自宅で必要な準備や自己研鑽の学習を行う。	
	各コマにおける 授業予定	総合臨床実習(320時間:8時間×5日間×8週間)					